

■山名時氏 武将。足利尊氏に従うも、観応の擾乱後、南朝側中心となるが帰順、義満将軍時には、領国は11カ国に。

やまなときうじ

・ ・ ・ ・ ・ 1303＝ 上野国新田氏一族の山名弥二郎政氏の子に生まれる。母は上杉重房の娘。

・ ・ ・ ・ ・ 1312＝ 9歳：

後醍醐天皇・1318＝15歳：

後醍醐親政始1321＝18歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1330＝27歳：

鎌倉幕府滅亡1333＝30歳：*足利高氏(のち尊氏)に従って上洛し、後醍醐天皇への帰順に同意する。

中先代の乱・1335＝32歳：_尊氏に従って北条時行を討つ。

南北朝分裂・1336＝33歳：_尊氏が背いて西上し、大渡・豊嶋河原での戦、九州への敗走、筑前国多々良の戦、再上洛を経て、湊川の戦で新田義貞・楠木正成を破って入洛するまで、尊氏の一将として戦う。

・ ・ ・ ・ ・ 1337＝34歳：*伯耆国守護職を与えられる。

後醍醐天皇没1339＝36歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1340＝37歳：_桃井直常とともに塩冶高貞を討ち自殺させ、丹波国守護職を与えられる。

・ ・ ・ ・ ・ 1348＝45歳：楠木正行と天王寺で戦って敗れ、退く。

・ ・ ・ ・ ・ 1351＝48歳：_観応擾乱に際し、以後、_直義派に属し、

観応の擾乱終1352＝49歳：_直義が尊氏に毒殺されると、嫡子師義が若狭国の所領のことで怒って京都を出たのを機に、足利直冬を奉じて南朝勢力となり、長く反幕府勢力の中心となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1353＝50歳：_楠木正儀・石塔頼房らの南朝勢力と呼応して高師詮の軍勢を破って京都に入り、一時南朝方の京都回復に尽した。しかし、南朝方の優勢は崩れ、時氏も京都から撤退した。

・ ・ ・ ・ ・ 1355＝52歳：_直冬を奉じ、再度但馬・丹波路を経て東上し、石塔頼房・桃井直常らと第2回の京都回復を達成したが、兵糧の不足から兵を分国に返す。

・ ・ ・ ・ ・ 1357＝54歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1361＝58歳：_美作国守護赤松貞範を攻め、同国を制圧する。

山名時氏征討1363＝60歳：*この年までに因幡・美作・隠岐を確保し、さらに石見・備中・備前・但馬の一部にも領主権を拡大。京都攻撃は不成功であったが、領国支配の拡大、領国内の被官組織の強固な固定化に成功。将軍義詮に遣わされた一色詮光から帰服をすすめられると、実力で獲得した山陰・山陽両道の5カ国の所領安堵を条件に承知して、義詮に認められ、さらに出雲・丹後の守護職も付加された。

・ ・ ・ ・ ・ 1366＝63歳：

足利義満将軍1368＝65歳：_仁木義長・今川貞世・佐々木氏頼・赤松義則とともに、将軍義満の評定衆に列する。

了俊九州探題1370＝67歳：*細川頼之に従って河内を攻める。家督を譲って隠居したとき、その領国は但馬・因幡・伯耆・美作・丹波・紀伊・和泉・備後・隠岐・出雲の11カ国あったので六分一殿と称され、

・ ・ ・ ・ ・ 1371＝68歳：従五位下。伊豆守・弾正少弼・左京大夫。幕府の侍所所司として、_没した。